

帯広開発建設部、釧路地方気象台、十勝総合振興局、
帯広市、音更町、士幌町、新得町、清水町、芽室町、
中札内村、池田町、幕別町、豊頃町、本別町、浦幌町

平成28年8月26日

十勝川における減災に関する取組方針を取りまとめます

～「第2回十勝川減災対策協議会」を開催します～

十勝川では氾濫が発生することを前提として、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とし、帯広開発建設部、十勝総合振興局、釧路地方気象台、流域市町村からなる「十勝川減災対策協議会」を平成28年6月9日に設置しました。

今般、8月30日（火）に「第2回十勝川減災対策協議会」を開催し、「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく十勝川の減災に関する取組方針を取りまとめます。

洪水を河川内に安全に流すための堤防整備や河道掘削などのハード整備に加えて、円滑かつ迅速な避難行動や的確な水防活動等を行うためのソフト対策にも重点を置き、帯広開発建設部、十勝総合振興局、釧路地方気象台、流域市町村が一体となって実施する内容を取組方針として取りまとめます。

記

1. 開催日時

平成28年8月30日（火） 14：00から（1時間30分程度を予定）

2. 開催場所

道新ホール 大会議室（住所：帯広市西4条南9丁目1番地）

3. 議事（予定）

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく十勝川の減災に関する取組方針（案）について

4. 公開等

- ・会議は取材可能ですが、カメラ撮影は会議冒頭部分のみとしています。
- ・会議での配付資料等は、後日、帯広開発建設部のホームページに掲載します。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部 電話（ダイヤル）0155-24-4105

治水課 課長 中島 康博（内線 291）

治水課 上席治水専門官 河合 崇（内線 504）

「十勝川減災対策協議会」 設置趣旨

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨では、流下能力を上回る洪水により利根川水系鬼怒川の堤防が決壊し、氾濫流による家屋の倒壊・流失や広範囲かつ長期間の浸水が発生しました。また、これらに住民の避難の遅れも加わり、近年の水害では例を見ないほどの多数の孤立者が発生する事態となりました。今後、気候変動の影響により、このような施設の能力を上回る洪水の発生頻度が高まることが懸念されています。

こうした背景から、平成 27 年 12 月 10 日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。

本答申においては、氾濫が発生することを前提として、社会全体で常にこれに備える「水防災意識社会」を再構築する必要があるとされています。また、そのための施策として、関係者が連携して避難に関する計画の作成や水防等の減災に関する様々な課題に対応するための協議会等の仕組みを整備する等、円滑かつ迅速な避難の実現、的確な水防活動の推進等を図るための取組を進めるべきとされています。

このことを踏まえ、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進することにより、十勝川流域において氾濫が発生することを前提として社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とし、帯広開発建設部、釧路地方气象台、十勝総合振興局及び流域市町村からなる「十勝川減災対策協議会」を設置するものです。

十勝川減災対策協議会 委員名簿

帯広市	市長
音更町	町長
士幌町	町長
新得町	町長
清水町	町長
芽室町	町長
中札内村	村長
池田町	町長
幕別町	町長
豊頃町	町長
本別町	町長
浦幌町	町長
北海道十勝総合振興局	局長
釧路地方气象台	台長
帯広開発建設部	部長